

高齢者における便秘症と慢性併存症との関連についての検討

1. 研究の対象

2016 年 10 月 1 日～2021 年 3 月 31 日の間に、当院総合内科に入院となった
65 歳以上の方

2. 研究の期間

研究倫理委員会承認後 から 2024 年 3 月 31 日まで

3. 研究目的および意義

便秘を訴える患者様は高齢になるほど増え、男女差がなくなってきています。高齢患者様にとっての便秘症は、サルコペニア・フレイル[※]の原因となり慢性腎臓病発症や、心血管疾患や脳卒中による死亡リスクの増加と関連し生命予後に影響するといわれています。高齢患者様の多い当院においては、注意すべき老年症候群の一つであり、薬物療法以外も含めて治療や介入すべき疾患であるとして考えています。

本研究では、便秘に影響を与える因子について、慢性併存症や老年症候群や多剤内服などの観点から検討し、どのような高齢患者に特に便秘の注意が必要なのかを明らかにすることを目的としています。また、便秘に対して薬物療法以外の面で、どのような介入が有用かを検討します。

※サルコペニア・フレイル

フレイル（虚弱）とは：加齢により心身が疲れやすく弱った状態

サルコペニアとは：フレイル（虚弱）の原因となる筋肉量の減少し筋力や身体機能が低下する症状

4. 研究の方法

電子カルテから情報を収集させていただきます。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、併存疾患に対する内服薬の有無（高血圧症、心疾患、糖尿病、パーキンソン病、消化器疾患、呼吸器疾患、慢性腎臓病[eGFR30 未満]）、老年症候群に対する内服薬の有無（慢性疼痛、不眠、頻尿）、多剤内服（6 剤以上）、入院時内服データ、Body mass index、Barthel index（入院時）、入院時 DASC-21、入院前食事形態、採血項目（クレアチニン）

6. 研究組織

研究責任者：東京都健康長寿医療センター高齢診療科 岩切 理歌

研究分担者：東京都健康長寿医療センター高齢診療科 片岡 愛

東京都健康長寿医療センター高齢診療科 濱谷 広頌

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢診療科 片岡 愛

電話 03-3964-1141 (平日 9:00~17:00)